

事項	遮光率が高い条件での育苗はデルフィニウムの秋出し栽培を可能にする																																																																					
ねらい	<p>エラータム系デルフィニウムの秋出し栽培では、育苗時に早期抽苔を発生し、早期開花と品質低下を引き起こしやすい。このため、冷房育苗やセルトレイを利用した長期育苗が開発されているものの、前者は施設整備費が高く、後者は育苗期間が長い問題がある。</p> <p>遮光率が高い条件での育苗はこれらの問題を解決し、秋出し栽培に利用できることを明らかにしたので、参考に供する。</p>																																																																					
指導内容	<p>1 育苗方法</p> <p>(1) 4月下旬に必要苗数の1～2割増しで播種する。</p> <p>(2) 6月上旬に2.5号ポリポットに移植する。</p> <p>(3) 移植から定植まで遮光率90～95%の条件下で育苗する。</p> <p>(4) 本葉展開後から週1回程度、液肥による追肥を行う。</p> <p>(5) 育苗期間を100日程度とし、8月上旬に定植する。</p> <p>2 作型</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">育 苗</th> <th colspan="2">3月</th> <th colspan="2">4月</th> <th colspan="2">5月</th> <th colspan="2">6月</th> <th colspan="2">7月</th> <th colspan="2">8月</th> <th colspan="2">9月</th> <th colspan="2">10月</th> </tr> <tr> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> <th>上</th><th>中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本法(強遮光)</td> <td></td><td></td> <td></td><td>○</td> <td>—</td><td>(△)</td> <td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td> <td>●</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>■</td><td>■</td> </tr> <tr> <td>セルトレイ長期</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>—</td> <td>—</td><td>(△)</td> <td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td> <td>●</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>■</td><td>■</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：播種、(△)：移植、●：定植、■：採花期、セルトレイ長期：H19年指導参考内容</p> <p>3 栽培上の留意点</p> <p>(1) 90～95%遮光率の寒冷紗を1枚被覆する。または75～80%遮光率の寒冷紗を使う場合は2枚重ねで被覆する。</p> <p>(2) 育苗用土に緩効性肥料を混和すると、初期の追肥を省略できる。</p> <p>(3) 育苗中は葉が混み合うため通気を良くする。</p> <p>(4) 抽苔していない苗を定植する。</p> <p>(5) 定植期が高温であるため、遮光等により温度を下げ、活着を促す。</p> <p>(6) 定植直後に抽苔した苗は取り除き、残っている苗を補植する。</p>			育 苗	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	本法(強遮光)				○	—	(△)	—	—	—	—	●	—	—	—	■	■	セルトレイ長期	○	○	○	—	—	(△)	—	—	—	—	●	—	—	—	■	■
育 苗	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月																																																							
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中																																																						
本法(強遮光)				○	—	(△)	—	—	—	—	●	—	—	—	■	■																																																						
セルトレイ長期	○	○	○	—	—	(△)	—	—	—	—	●	—	—	—	■	■																																																						
期待される効果	<p>1 秋出しデルフィニウムの切り花品質向上が期待できる。</p> <p>2 冷房育苗施設がなくても、秋出し栽培が可能になる。</p> <p>3 セルトレイを利用した長期育苗に比べて育苗期間が短縮される。</p>																																																																					
利用上の注意事項	<p>1 育苗場所に直射日光が入らぬようにする。</p> <p>2 弱遮光条件の場合、抽苔しやすく、苗の確保が難しい。</p> <p>3 秋冷が早い年次は、採花期が遅くなるため保温資材を利用する。</p>																																																																					
担当部署(担当者名)	青森県農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり 栽培開発部 (佐々木和也)	対象地域	県下全域																																																																			
発表文献等	<p>平成18～19年 青森県農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり花き試験成績概要集</p> <p>平成19年 東北農業研究(第61号)</p>																																																																					

【根拠となった主要な試験結果】

表1 遮光方法の違いが育苗時の抽苔と葉数に及ぼす影響
(平成18～19年 青森農林総研フラワーセ)

年次	試験区	育苗場所	遮光方法	遮光率 (%)	ブルーバード		オーロラブルーインプ	
					抽苔率 (%)	葉数 (枚)	抽苔率 (%)	葉数 (枚)
H18	遮光1	露地	木陰	92	3	5.4	13	6.5
	遮光2	露地	銀色寒冷紗	64	29	5.8	73	6.6
	慣行	施設	銀色寒冷紗	61	38	6.5	95	7.8
	夜冷	施設	—	—	3	5.4	0	6.4
H19	遮光1	露地	木陰	96	14	5.5	3	5.9
	遮光3	露地	黒色寒冷紗	94	18	5.6	10	7.0
	遮光4	施設	黒色寒冷紗	96	6	5.2	3	5.9
	慣行	施設	銀色寒冷紗	59	92	5.1	98	5.3
	夜冷	施設	—	—	5	8.2	0	9.9

(注) 1 定植日に調査、葉数は生葉数
2 H19遮光3は直射日光の影響を受けたと思われるデータを除く

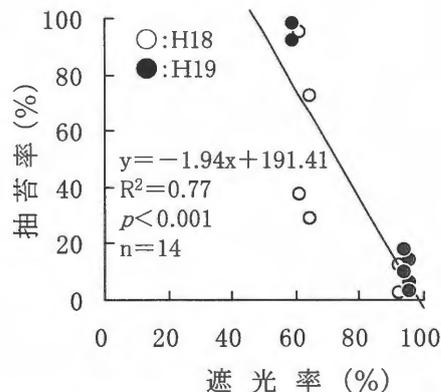


図1 育苗時の遮光率と抽苔率の関係
(平成18～19年 青森農林総研フラワーセ)

表2 遮光下での育苗によるデルフィニウムの採花期と切り花品質 (平成18～19年 青森農林総研フラワーセ)

年次	試験区	ブルーバード					オーロラブルーインプ				
		採花率 (%)	採花期 (月/日)	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	花蕾数 (個)	採花率 (%)	採花期 (月/日)	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	花蕾数 (個)
H18	遮光1	100	10/2	99.4	44.2	27.8	100	10/4	115.4	63.1	30.4
	遮光2	94	10/2	98.9	39.8	22.7	95	9/29	104.9	60.8	31.5
	慣行	100	9/29	102.6	42.9	21.5	—	—	—	—	—
	夜冷	94	10/6	98.5	39.0	17.8	100	10/6	99.4	54.7	24.5
H19	遮光1	79	10/31	86.0	38.7	33.7	100	10/25	77.7	41.0	39.4
	遮光3	96	10/25	95.2	49.0	43.4	100	10/31	82.2	45.6	48.7
	遮光4	78	11/8	92.7	50.1	33.7	82	11/8	79.6	44.8	40.9
	慣行	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	夜冷	83	11/8	106.0	50.3	40.1	100	10/25	90.2	51.8	55.7

(注) 採花期:全体の50%を採花した日、調査終了:11月30日

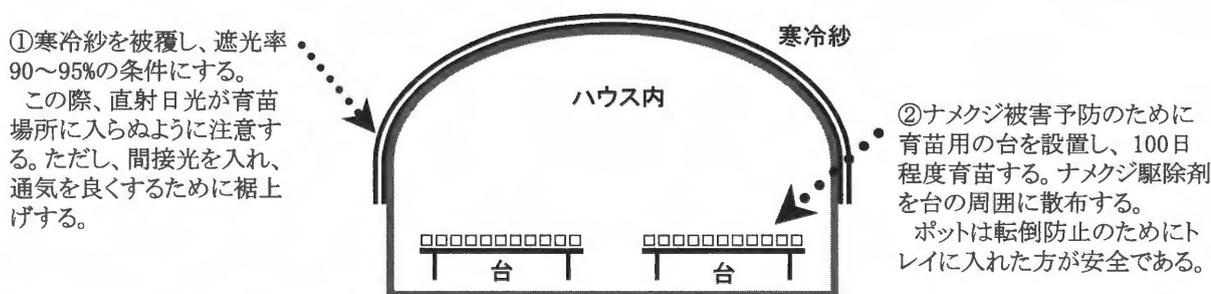


図2 ハウスを想定した場合の寒冷紗の設置方法と注意事項

耕種概要

- 1 播種時期 H18年4月28日、H19年4月26日
- 2 育苗用土 げんきくん2号
- 3 処理開始 H18年6月12日、H19年6月4日
- 4 施肥 育苗:液肥(窒素:65～100ppm)を週1回程度、基肥:窒素:リン酸:加里=1.5:1.5:1.5(kg/a)
- 5 定植時期 H18年8月3日、H19年8月2日
- 6 栽植様式 うね幅140cm、株間20cm、条間20cm、4条植え(1,250/a)
- 7 温度条件 無加温(気温15度以下になった時期:H18年は11月上旬、H19年は10月上旬)